

事務事業評価表

○基礎情報

課名		公園緑地課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	50	公園・緑地を整備する	深瀬 純一	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				2 人	9 人	3 人	4 人	4 人	378 時間	2.6 時間

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画 の現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
市民1人当たりの都市公園面積	3.01㎡/人	8.73㎡/人	3.02㎡/人	3.01㎡/人	3.31㎡/人	3.31㎡/人

- (評価の見方)
- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
 - ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
 - ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
 - ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
 - ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
 - ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
 - ・ Z 未着手事業
 - ・ 実績 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった
なし

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の 性質	実績			従事 者数	会計 区分	H28予算 H28決算 (単位:円)	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28 業棚 選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ (手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務 計画	広域 連携	行革 重点								
1	市営水泳プール管理運営事業	浜須賀、殿山の2市営プールを7月、8月に開場し、市民の健康と福祉増進を図る。	定例・定型的事業				0.40	一般	35,298,000 ----- 32,644,898	利用者数	23,500人	24,423人	S	
2	住区基幹公園整備事業	公園空白地域を主とした借地公園の拡充及び都市公園化の検討を図る。	政策的事業				0.19	一般	19,200,000 ----- 19,200,000	市民1人当たりの都市公園面積(未公告公園を含めた場合)	3.60㎡/人 (3.80㎡/人)	3.31㎡/人 (3.76㎡/人)	S	
3	柳島キャンプ場管理運営事業	誰もがレクリエーション活動を楽しめる憩いの場として、通年で多様に利用できる施設の運営管理を目指す。	政策的事業				1.33	一般	25,531,000 ----- 22,315,285	年間利用者数	20,200人	21,626人	S	
4	既存公園等改修整備事業	老朽化した施設を改修またはリニューアルし、まちの活性化と利用者の安全確保を図る。	政策的事業				1.99	一般	0 ----- 0	改修箇所数	13か所	26か所	S	
5	市民の森再整備事業	市民ワーキングにより具体的な再整備の検討及び実地作業を行い、自然観察体験や遊び体験の森としての整備を図る。	政策的事業				0.19	一般	0 ----- 0	利用者数	10,000人	9,581人	S	

6	中央公園再整備事業	開設後約30年が経過した中央公園を再整備し、利用者の安全、安心の確保及び美化的向上を図る。	政策的事業				0.28	一般	0	中央公園の再整備	公園基本設計	公園基本設計	S	
6-1								繰越	8,478,000 8,424,000					
7	氷室椿庭園建物保存整備事業	登録有形文化財への指定手続き及び耐震診断結果による耐震補強の実施を図る。	政策的事業				0.03	一般	0	和室の一般開放再開	登録有形文化財指定	登録有形文化財指定のための有識者の所見を作成し、文化庁に提出	A	
8	氷室椿庭園管理運営事業	寄附を受けた個人庭園を椿の特殊公園として一般開放し、適正な維持管理による潤いのある憩いの場としての活用を図る。	定例・定型的事業				0.39	一般	6,265,000 6,152,583	和室利用者数	0人	0人	Z	
9	街路樹剪定等植樹地整備事業	街路樹、緑地、道路残地植樹帯の剪定及び除草を実施し、快適で良好な緑の保全と安全確保を図る。	定例・定型的事業				1.51	一般	27,342,000 27,027,000	剪定本数	43,000本	46,440本	S	
10	公園緑地等管理運営事業	市内公園、緑地の植栽及び公園施設を適正に管理し、市民の安らぎ・憩いの場としての利用を図る。	定例・定型的事業				5.43	一般	97,600,000 92,702,369	管理箇所数	189か所	188か所	S	
11	樹木センター管理運営事業	市民からの不用となった樹木の活用と緑化の推進を図る。	定例・定型的事業				0.65	一般	845,000 842,457	管理面積(㎡)	6,579㎡	6,579㎡	S	
12	病虫害防除事業	病虫害駆除のための薬剤散布及び松くい虫の防除を図る。	定例・定型的事業				0.11	一般	2,901,000 2,675,138	樹幹注入本数	200本	136本	A	
13	北部地区緑地維持管理事業	市民の森や清水谷など里山等の維持管理を継続して行うことで、持続的な緑地の保全を図る。	定例・定型的事業				1.06	一般	19,373,000 18,864,731	緑地借地件数	34件	36件	S	
14	公園愛護会制度、みどりの里親制度	身近な公園を市と一体となって地域で管理していただき、環境保全活動、美化活動の促進及び緑化の推進を図る。	定例・定型的事業				0.73	一般	1,961,000 1,384,542	公園愛護会活動箇所数	26か所	44か所	S	
15	災害応急対策活動	本市域に、地震動・津波等伴う諸現象による同時多発的災害が発生した場合に、被害を軽減し、応急対策活動を課として迅速的確に対処する。	定例・定型的事業				0.42	一般	0 0	-	-	-		
16	庁内共通事務	-	定例・定型的事業				0.48	一般	150,000 115,325	-	-	-		
合計							15.19	予算 決算 繰越	244,944,000 223,924,328 8,424,000					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>公園緑地課の第3次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き14事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、「S」11事業、「A」2事業、「Z」1事業となっており、全体的には事業の成果はあがっているといえる。No.8の氷室椿庭園管理運営事業が「Z」となった理由は、庭園内の茶室の耐震強度が足りないことが判明し、利用を中止したためである。</p> <p>また、施設運営及び維持管理をしている中で、遊具の瑕疵による事故等がなく、管理者として安全性を確保できたことは、総合的に見て評価は高いと考えている。</p> <p>職員の時間外勤務については、総時間で378時間、一人当たりに換算すると月平均3時間であり、全庁的に見ても少ない方ではあるが、今後もさらに時間外勤務の縮減に向け努めていきたい。</p>	

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
2	住区基幹公園整備事業	県からの管理移管された柳島しおさい公園(70,339㎡)、新たな借地公園の甘沼向原公園(1,060.52㎡)、南湖院記念太陽の郷庭園(3,475.13㎡)が供用開始されたことで、前年度に比べ、公園面積は増となった。指標である市民1人当たりの都市公園面積は目標を達成できなかったが、公園面積は増加させることができた。
3	柳島キャンプ場管理運営事業	市と民間団体が協働で運営し、前年度より多くの利用者が訪れ、指標を上回ることができた。利用者数は前年度の20,322人から21,626人と6.4%アップし、利用組数は2,936組から3,315組と13%アップした。その要因として、協働推進団体が閑散期である冬期や平日において、イベントを多数開催するなど、キャンプ場の魅力が十分に発信されたことが考えられる。今後もイベントの開催をホームページ・フェイスブック・広報紙による周知等により、さらにキャンプ場をアピールしていく。

5 新たな行政改革重点推進事業(本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます)

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-